

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ 葛西校		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	個別療育後、毎回振り返りがあるので、他スタッフの意見も聞けて、新たなプログラムなどを取り入れる機会になっている。	通常担当以外のスタッフが代打に入ることによっていつもと異なるプログラムを実施、児の新たな可能性の発見やステップアップに繋がる。また多角的に捉える機会にもなる。
2	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を理解したものが参画しているか。	今年度、3者の日程調整ができたため、数回、サービス担当者会議に子どもの様子や状況を理解したスタッフが参加できた。	担当の療育があるので、日程調整が困難ではあるが、必要な担当者会議に出るために教室内で調整は続けたい、また会議場所を自教室での開催を検討していただくことで参加率も上がると思われる。
3	定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	日々の面談を通して、子育てに関する助言や必要な情報提供がされている、相談内容によってスタッフ同士の情報交換も行われている。	定期的な面談や子育てに関するご相談に対し、より専門的で質の高い情報提供やアドバイスがお届けできるようスタッフ一人ひとりのスキルアップに努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や保護者会の開催を通じた保護者同士の交流機会の提供また、きょうだい同士の交流機会の提供などによる支援。	年に数回のイベントがあり、きょうだい児や保護者同士の繋がりを持つ場の提供はできているが、繋がれる場所としての発信ができていない。	保護者が主体となって参加できるイベントを増やしていけるよう企画元に対して提案をしていく、また保護者、きょうだいが参加できるイベントでは繋がりが作れる場所であることを事前の案内で伝えていく。
2	通信、ホームページ、SNS等を通じた活動概要、行事予定、連絡体制の定期的な周知。	インスタグラム、ブログ、ホームページ、マイページアプリで定期的に行事予定、活動概要等の発信を行っているが、利用者に法人からの発信が浸透していない感がある。	ブログの更新、アプリでの行事案内等チラシを掲示する時に、利用者の目に入りやすい場所を作って掲示する。
3			